

Vitae教材

ネットワーキング

研究者のための リーダーシップ入門

本編は、研究者が、PI やグループリーダーとなって研究チームを率いる際に発揮すべきリーダーシップの理論やスキル、行動、そして資質について、シリーズで紹介する「研究者のためのリーダーシップ入門（Introduction to Research Leadership）」の一部です。

この教材は、世界中の研究者の専門性とキャリア開発を支援する英国の非営利団体 Vitae によって作成され、独学可能な実用ガイドとして設計されています。必要に応じて個々のパーツだけ取り上げてもよいですし、ご自分のペースに合わせながらシリーズ全てを網羅的に学ぶこともできます。

ネットワーキングとは、人々が相互にアドバイスし合ったり、機会を共有し合えるように、ネットワークを構築し、維持し、舵取りをすることです。

「ネットワークを構築することは、自分の専門分野以外で何が起こっているかを理解するために有効であり、思いもよらないような機会を与えてくれます。また今後、共同研究をする場合には、ネットワークがますます重要性を増してくるでしょう。あなたの存在を思い出してくれる誰かがいることは大切なことです。」（シニア研究リーダー）[1]

1. Academic research leader interviewed in: Denney, F., Mitchell, A., & Wheat, K. (2015). 'Developing the next generation: Guidance and good practice in the development of early career researchers and academics'. The Careers Research and Advisory Centre (CRAC) Limited. www.vitae.ac.uk/vitae-publications/guides-briefings-and-information/developing-the-next-generation-vitae-brunel-lfhe-2015.pdf



ネットワーキング

当たり前のことですが、いくら優れた研究を行っても、その研究をしたのがあなただと知る人がいなければ意味がありません。学術の世界でキャリアを追求し、研究リーダーとして成功するためには、自分の研究がインパクトを与え、自分の研究も自分も認められ、適切に評価される必要があります。

もちろん最も重要なのは、研究成果を論文発表することです。しかし、あなたを知ってもらう方法はそれだけではありません。本編では、アカデミアにおいてあなたやあなたの研究がもっと注目されるように、ご自分のプロフィールを構築する方法を探っていきましょう。

このモジュールは、Vitae RDF において次の項目に関連しています。

B3 能力開発・キャリア開発：人脈作り

D2 コミュニケーションと普及：コミュニケーション・メディア

また、以下の点にも触れています。

- B1 個人の資質：自信

- B3 能力開発・キャリア開発：機会への機敏な対応

- D1 他との協働：協働

ネットワーキングの重要性とは

ネットワーキングという行為の目的を、単に相手を「利用する」ためだ、という考え方をしてしまう人にとっては、ネットワーキング活動は胡散臭いものと見做されてしまうかもしれません。しかし、ネットワーキングは、決して失礼で無粋な行動ではありません。ネットワーキングとは、より幅広くお互いの利益を追求するために、他の人の研究に興味を示すことが大きな目的です。今日のアカデミアにおいて、ネットワーキングは、自分の研究の影響力を高め、キャリアを発展させるための重要な手段です。

ネットワーク構築が優れた人は、キャリア向上の機会に恵まれやすいといえるでしょう

ネットワーキングの利点

- 研究上の疑問や問題、成果をより広いネットワーク間で共有しておけば、「車輪の再発明」をせずに済みますし、重要なリソースを紹介してもらえば、貴重な時間を節約できる可能性があります。

- 大学内では、同僚や大学職員とのネットワークが、貴重なサポートや情報源となる可能性があります。時折、私たちには精神的な支えも必要で、仲間と経験を共有することで、自分は一人ではないと思えるでしょう。

- 研究プロジェクトは、他の分野や研究機関、企業との共同研究により進んでいくことが多くなっています。研究資金を獲得するには、共同研究の強力なパートナーシップが重要で、そのためには人脈を通じて適切な人物と適切なコネクションを築いておけるかどうかが鍵になります。

- 研究者は、次のキャリアステージが決まっているわけではありません。しかし、幅広いプロフェッショナルなネットワークを構築し、関係性を維持することで、次のステップへの道が開けるかもしれません。ネットワークを広げることは、共同研究、雇用契約、キャリアの方向転換への糸口となるのです。

- 沢山の知人やコンタクト先があり、同僚や元同僚との繋がりを維持している人は、キャリアで成功する傾向があります。人は自分が知っている人、好きな人と協力することを好む傾向があります。したがって、ネットワーク構築がうまい人は、キャリア向上の機会に恵まれやすいと言えるでしょう。

英語オリジナル版 : Published by Vitae © 2021 The Careers Research and Advisory Centre (CRAC) Limited
和訳版 : © 2023 Japan Science and Technology Agency

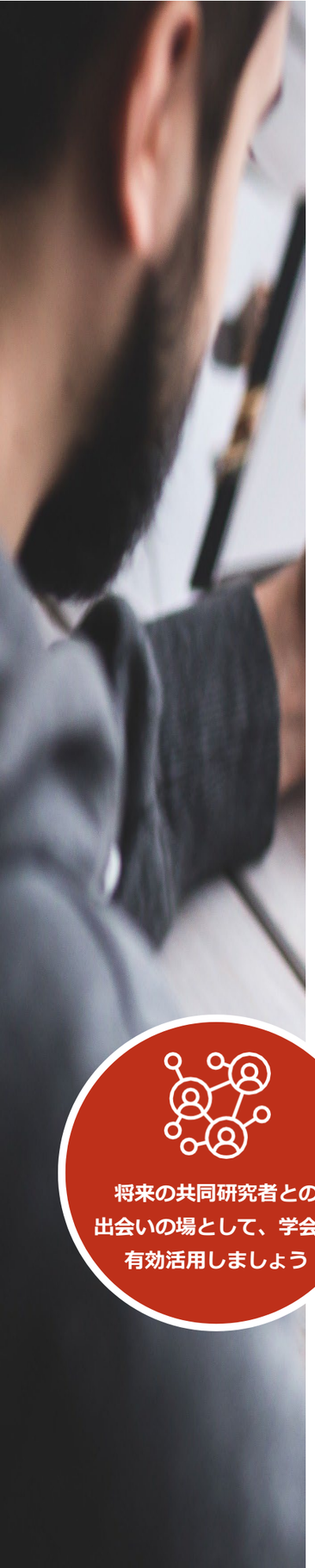
Vitae リーダーシップガイドブック ：ネットワーキング

ネットワーキングについての自己診断

Vitae RDF に基づく下記のチェックシートを使って、現在のネットワーキング活動を評価し、改善点を洗い出してみましょう。左端のフェーズ 1～5 は、ネットワーク構築の習熟度を表しています。

RDF B3.4	内容	いいえ	よくわからない	はい	取り組む予定
フェーズ 1 - 2	所属機関の上司や同僚と協力的なネットワーク、協働関係を構築し、維持している。	☐	☐	☐	☐
	より広範な研究コミュニティにおいて、仲間と協力的なネットワーク、協働関係を構築し、維持している。	☐	☐	☐	☐
	個人的なネットワークを有効に活用して、仕事に対するフィードバックや助言、批評をもらい、何かあればやりとりができる。	☐	☐	☐	☐
	オンラインでのネットワークを有効に活用して、仕事に対するフィードバックや助言、批評をもらい、何かあればやりとりができる。	☐	☐	☐	☐
	学会や公的な団体の活動に関わっている。	☐	☐	☐	☐
フェーズ 3	外部にいる経験の浅い研究者・学生ともネットワークを共有している。	☐	☐	☐	☐
	厚い信頼関係を築くことができる。	☐	☐	☐	☐
	学術団体や組織の中で頼られる主力メンバーになりつつある。	☐	☐	☐	☐
フェーズ 4	ネットワークを牽引している。	☐	☐	☐	☐
	国内の学会や学術機関とのネットワークがある。	☐	☐	☐	☐
	海外の学会や学術機関とのネットワークがある。	☐	☐	☐	☐
	国内のアカデミア以外の団体や組織とのネットワークがある。	☐	☐	☐	☐
	海外のアカデミア以外の団体や組織とのネットワークがある。	☐	☐	☐	☐
	政策立案するネットワークとつながっている。	☐	☐	☐	☐
	公的・私的な研究開発分野のネットワークでつながっている。	☐	☐	☐	☐
フェーズ 5	著名な団体や組織に影響力がある。	☐	☐	☐	☐
	学術団体とのネットワークを通じて、社会的に大きなインパクトを与える立場にある。	☐	☐	☐	☐
	学術以外の組織団体とのネットワークを通じて、社会的に大きなインパクトを与える立場にある。	☐	☐	☐	☐

英語オリジナル版 : Published by Vitae © 2021 The Careers Research and Advisory Centre (CRAC) Limited
和訳版 : © 2023 Japan Science and Technology Agency



将来の共同研究者との出会いの場として、学会を有効活用しましょう

効率的なネットワークの構築法

Win-Win の関係

ネットワーキングは Win-Win の原則に基づきます。あなたがネットワークから有益な情報を得るのと同様に、あなた自身も相手に与えることが期待されています。ネットワークの中にいる人々にあなたがどれくらい助けてもらえるかは、あなたがその相手にどの程度自分の時間を費やし、どの程度支援や知見を与えられるかにかかってきます。

学会に参加して、うまくネットワークを構築しましょう

学会に出席することは、若手の研究者にとってネットワークを構築し、研究分野で知人をつくる最も重要な手法です。共同研究者、同僚、雇い主として今後出会うかもしれない知人を得るプラットフォームとして、学会を活用しましょう。

「学会に出席し、学術コミュニティと交流しましょう。自分がネットワーキングしているとは思っていないので、ネットワーキングという考え方や用語は好きではありません。ですが、何年もずっと同じ分野にいると、中には同僚になるかもしれない人もいます。知り合いをつくることはよいことです。」(シニア研究リーダー)[1]

学会の前に、どのような人たちと新たに知り合えそうかを考えましょう。出席者や講演者のリストを見て、会うべき重要な研究者を決めます。そのうち数人とは事前に連絡して、会う時間も約束しましょう。既に知り合いでも、関係を深めるために連絡し合いましょう。また、あなたの「重要な研究者リスト」に載っていなくても、初対面の人とは積極的に交流しましょう。

自由時間は同じ分野の人とだけで過ごしてはいけません。また、ずっと自分の研究のことばかり話してはいけません。ほかの共通の話題や趣味についても話しましょう。それが、信頼関係を築くのに役立つのです。学会後には、電子メールで連絡先を伝え、あなたの経歴を載せたウェブページがあれば、そのリンクも伝えましょう。

地域や国をまたぐ活動にも積極的に参加しましょう

例えば、学術団体の主力メンバーになり、パネル、フォーラム、ワーキンググループにも積極的に参加し、貢献しましょう。 あなたの研究分野に関連する団体に参加するか、団体がなければ新たに設置してもよいでしょう。あなたはネットワークの中心的人物として、新しい知り合いを作ることができます。

英語オリジナル版 : Published by Vitae © 2021 The Careers Research and Advisory Centre (CRAC) Limited
和訳版 : © 2023 Japan Science and Technology Agency

Vitae リーダーシップガイドブック ：ネットワーキング

オンラインネットワークを活用しましょう

オンラインでのネットワーキングは、最も利用しやすいプラットフォームであり、多くの人との新たな出会いがあります。中でも、ソーシャルネットワーキングサイト（SNS）の活用はおすすめです。SNS には、ブログ、ファイル共有・メッセージアプリなどのツールが用意されています。

専門分野のコミュニティにアクセスしましょう

知り合いの連絡先を調べたり、連絡を取り合うことが容易にできます。ですが SNS を利用する際には、炎上やプライバシーの漏洩などに注意し、どのフォーラムを利用して、やりとりをするかを慎重に検討してください。また、ディスカッショングループに参加して、今の「ホットトピックス」についての情報収集を行うとともに、有意義な議論をリードすることで、学術コミュニティ全体に対して自分を売り込むこともできます。

専門分野のオンライン用プロフィールで存在感を高める

あなたの研究ウェブサイトも、ネットワーキングには大変役立ちます。ウェブサイトでは自由自在にあなた自身とあなたの研究を公開することができるので、セルフプロモーションに適しています。可能であれば、所属する機関のウェブサイトも活用してみましょう。プロフィールに、自身の研究内容の説明を添えておけば、ほかの研究者に検索され、見つけてもらえる可能性があがります。



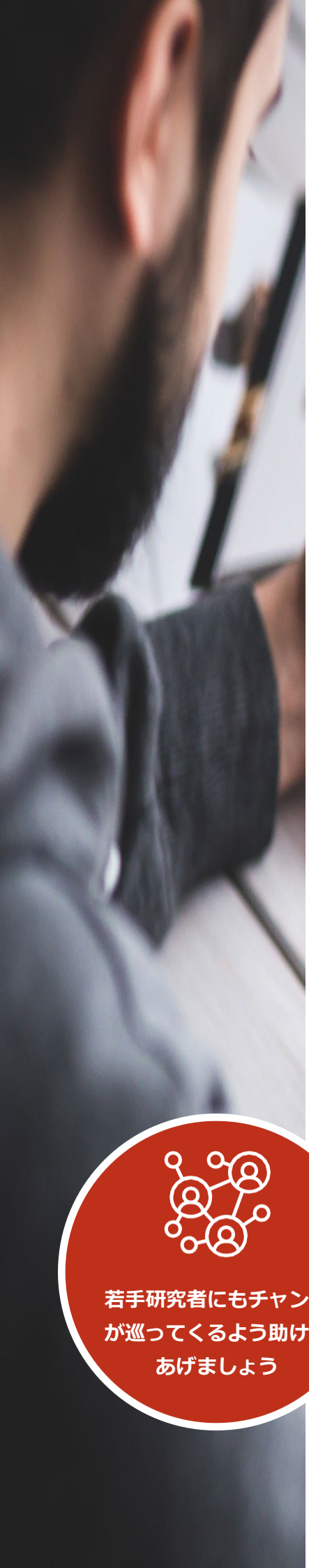
自信を持ってネットワーキングするためのヒント

やるべきこと：

- ◇ ネットワーキングを行うことは、自分のキャリアへの長期的な投資だと考えましょう。
- ◇ 非公式な社交イベントを含め、すべてをネットワーキングの機会と見なしましょう。
- ◇ 学会に参加する前には、自分の研究を簡潔明瞭に説明できる「エレベーターピッチ」を準備しておき、学会で話題になっている内容について何か発言をしましょう。
- ◇ 予習をしましょう — 学会に出かける前に、参加者を頭に入れておきましょう。
- ◇ 会場に入る前に人と会う約束をしておきましょう — 電子メールや ソーシャルメディアは最適なツールです！
- ◇ 第一印象が重要であることを忘れないでおきましょう。素直に振る舞い、人の話に耳を傾けましょう。 すべての行いがあなたの評判を作りあげます。

やってはいけないこと：

- ◇ なぜ出席するのか、何を見出したいのかがわからないまま学会に参加しないようにしましょう。
- ◇ 自分から常に他の出席者のところに出向くのは控え、他の人が自分のところに来るように仕向ける方法を考えましょう。事前に彼らと約束しておくことも良い方法です。
- ◇ 新たに知り合った人が、あなたの興味のある分野に直接関係していなかったとしても、軽んじてはいけません。その人があなたを新たな分野に導いてくれるかもしれません。



若手研究者にもチャンスが巡ってくるよう助けてあげましょう

研究リーダーとして

キャリアを積めば積むほど、他の研究者の専門的な能力開発を助ける責任も出てきます。若手研究者に、あなた自身のネットワークを活用させてあげることはよいことです。さらに、他の人の論文がより注目され、引用されるように手助けをすることも大切です。

「実際に色々やってます。その一つは、論文がもっと引用されるようにすることです。常に自身の研究を明瞭に紹介し、幅広い層が魅力を感じるタイトルを付け、自身の直接の分野以外の研究者も理解できる要約かそれに近いものを用意してください。これでより多くの目に留まる可能性をもたらします。」(シニア研究リーダー)[1]

「研究者たちにとっての好機を見い出すのです。例えば、その研究者たちが注目されるように重要な会議に出席させ、相応しい人を紹介する機会を作ります。トレーニングとなるような望ましいイベントを見出し、彼らが出席して成果を得られるように後押しするのです。」(シニア研究リーダー)[1]

私のネットワークづくりの目標

以上を踏まえ、あなたはこれからネットワークを構築するにあたって、どのようなことを心がけていきたいですか？3 つ挙げてみましょう。

それぞれについて、具体的な目標を設定してください。このシリーズの「6. キャリアマネジメント」にある目標設定のヒントを参考にするとよいでしょう。

Vitae とその会員制プログラムは、独立した登録慈善団体である **Careers Research and Advisory Centre (CRAC) Limited** によって運営されています。CRAC 登録慈善団体番号 313164.

英語オリジナル版 : Published by Vitae © 2021 The Careers Research and Advisory Centre (CRAC) Limited
和訳版 : © 2023 Japan Science and Technology Agency